

ワクチンの話：?? 一体どれを選べばよいのかわからないという方へ

当院では10月からインフルエンザ、新型コロナワクチンのワクチン接種を始めます。

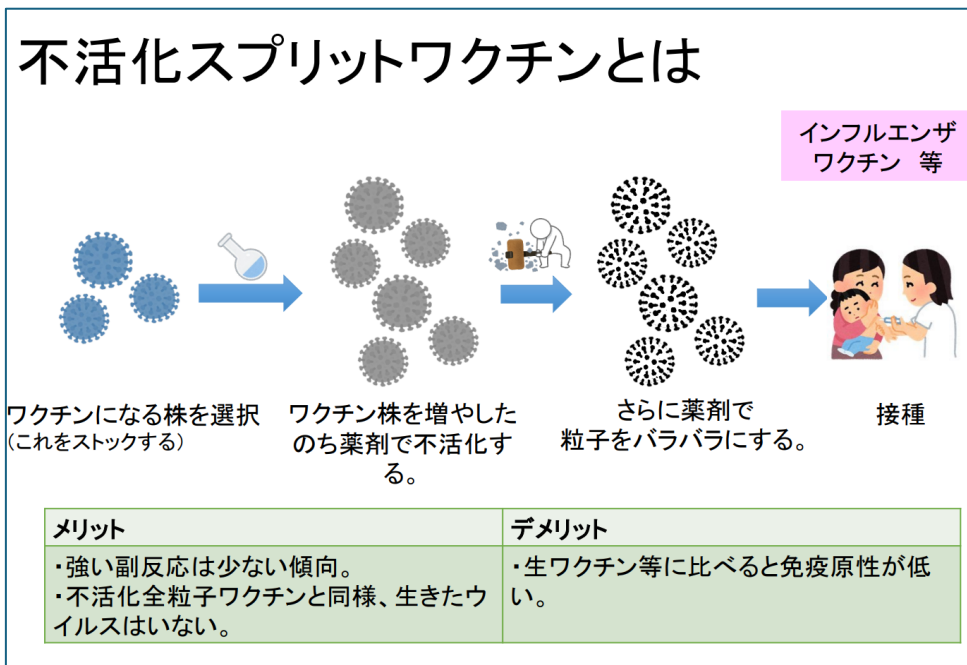
インフルエンザのワクチンは注射のワクチンに加え、注射ではない鼻から薬をいれるワクチンがあります。

新型コロナウイルスのワクチンは注射ですが何種類もあり、当院では組み換えタンパクワクチン、m-RNA ワクチンの2種類が摂取できます。

「インフルエンザ注射ワクチン」

不活化ワクチンで生きたウイルスはいません。

ウイルスを工業的に増やして薬剤で不活化し病原性をなくしたものを注射して免疫をつけます。インフルエンザ注射ワクチンは不活化スプリットワクチンです。



「インフルエンザ経鼻ワクチン」生ワクチンです。

インフルエンザワクチン「フルミスト」の特徴

- ✓ 痛みや刺激性が少ない、鼻に噴霧するタイプの生ワクチン
- ✓ 2歳～18歳が対象
- ✓ 妊婦、免疫不全がある人、喘息がある人、卵・ゼラチンのアレルギーがある人などは対象外
- ✓ 任意接種であり、原則全額自己負担
- ✓ 1シーズン1回の接種で済む
- ✓ 接種後、鼻水などの風邪症状が出ることも
- ✓ 接種後、インフルエンザ抗原検査が陽性になることも

YAHOO! Japan ニュース 2024年9月17日呼吸器内科医 倉原優 作成表転載

フルミストの注意点

フルミストの投与対象年齢は、**2歳～18歳**です。2歳未満の子どもに対しては喘鳴のリスクが増加したという報告があり、使用が認められていません。

生ワクチンなので、**接種後に鼻水やせきなどの風邪症状がみられる場合があります**。そのため、喘息や鼻づまりが強い子どもでは、**接種を避けたほうがよいでしょう**。周囲に授乳婦、免疫不全のある方がいる場合も、**接種を避けたほうがよいです**。

副反応で風邪症状が出現した場合、生ワクチンなので接種から2週間程度、**インフルエンザ抗原検査が「陽性」になってしまう可能性があります**。その他、卵アレルギーやゼラチンアレルギーのある人も避けたほうがよいです。

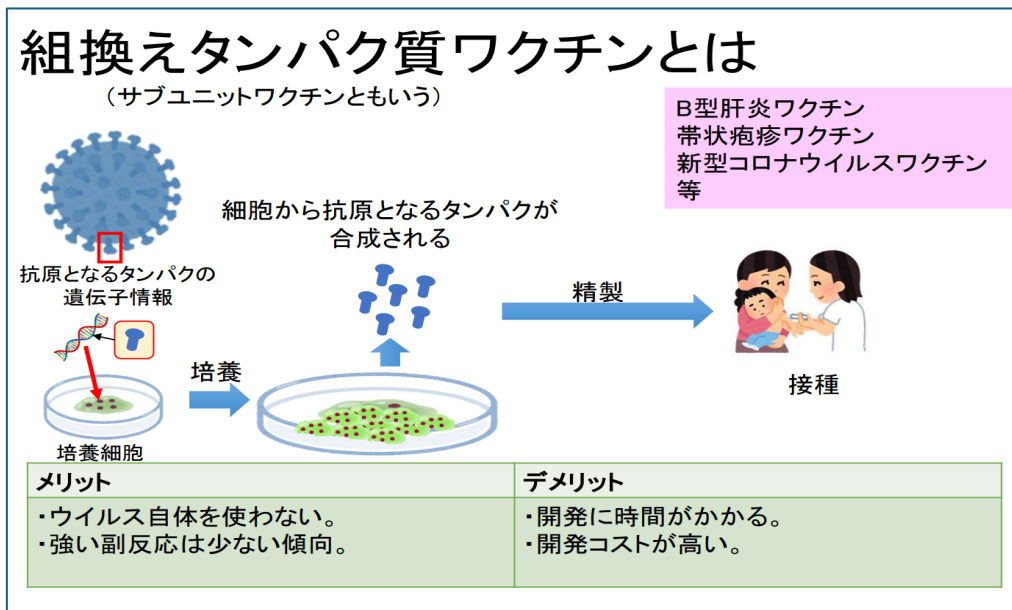
それでも今まで注射が嫌でワクチンを受けられなかった子供さんや一回しか打つ余裕がない場合、注射で大きく腫れてしまう場合などは選択肢となります。

「新型コロナワクチン」

タンパク質ワクチンと m-RNA ワクチンどう違うの？

病原性のないウイルスタンパクの一部を体外で工業的に生産して体に注射し、免疫をつけるのがタンパク質ワクチンでインフルエンザワクチンなどと同じような仕組みです。一方、病原性のないウイルスタンパクの一部を体の細胞が作れるように青写真（m-RNA）を体に注射して体内でウイルスタンパクをつくりそれに対する免疫をつけるのが m-RNA ワクチンでいままでファイザーやモデルナなど皆さんが注射してきたものです。タンパク質ワクチンを作るのには数年単位の時間がかかるため、新型コロナウイルス流行の最中、短時間で開発応用ができる m-RNA ワクチンが使用されてきました。現在どちらでも選べるようになりました。

武田「ヌバキソビット」は組み換えタンパク質ワクチンです。



ファイザー 「コミナティー」は m-RNA ワクチンです。

核酸ワクチン(mRNAワクチン)とは

～抗原の設計図だけを細胞に入れる新ワクチン～

新型コロナウイルスワクチン

抗原となるタンパクの遺伝子情報

合成

接種

体内でmRNAから抗原となるタンパクが作られる

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none">・ウイルス自体を使わない。・ウイルスの遺伝情報が分かれば早急に製造可能。	<ul style="list-style-type: none">・RNA自体にも反応することで免疫反応が強くなる可能性があるため、副反応も強い場合がある。

「インフルエンザワクチン」

注射 費用 1回 3800円 (全年齢対象)

経鼻 費用 1回 8500円 (2歳～18歳)

※ 経鼻ワクチンご希望の方は事前にお電話又は窓口にてご相談ください。

「新型コロナウイルスワクチン」

定期接種：65歳以上の方、60歳～64歳で対象となる※

費用 1回 3000円

任意接種：費用 1回 15,000円 (～64歳)

※心臓、腎臓または呼吸器の機能に障害があり、身の回りの生活が極度に制限される方、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）による免疫の機能障害があり、日常生活がほとんど不可能な方